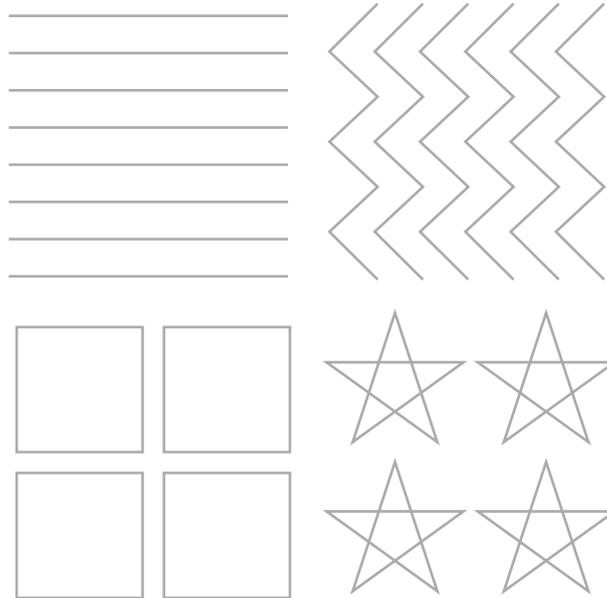


# 02

## キレイな線を描く



## 02 キレイな線を描く

# 線とかんたんな図形を描こう！

定規やコンパスなどの道具を使わずに、まっすぐの線やまんまるの正円を描くことができるでしょうか？

直線や正円は絵を描くうえで基本(きほん)の図形です。

「いいかんじの線」や「いいかんじの丸」を描けると  
いうことは、思いどおりの絵が描けるといことです。

描き続けていけば、しぜんとバランス感覚(かんかく)が身につきますので、なるべく毎日練習しましょう。

絵を描く前にウォーミングアップ！

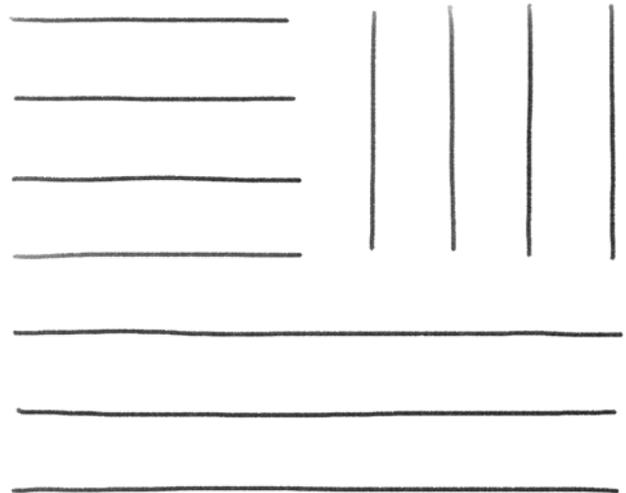


### 1. タテとヨコの直線を描く

タテ・ヨコそれぞれまっすぐの線を描いてみましょう。

ちからを入れすぎず、リラックスしてすーっとひといきに描ききってください。

なれてきたら、長い線も描いてみましょう。

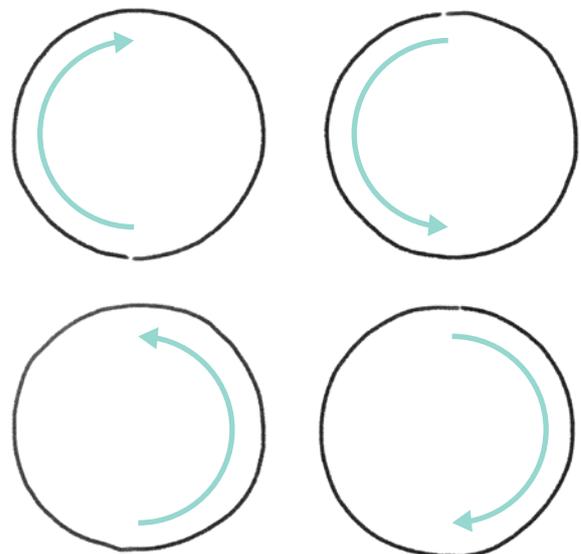


### 2. まんまるの正円を描く

頭のなかでボールをイメージしてください。

描きやすいと感じる描き方が見つかるまで、上から、下から、右まわり、左回りなどいろいろな方向から描いてみましょう。

なれてきたら、大きいまるも描いてみましょう。

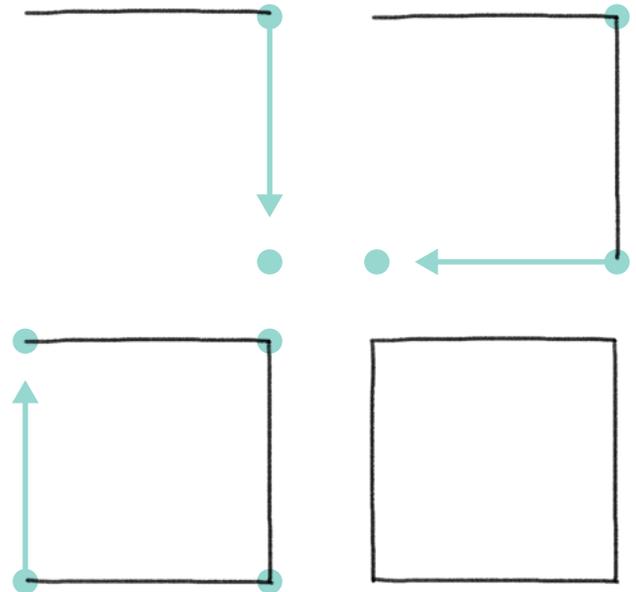


### 3.直線をつかって三角や四角を描く

直線になれてきたら、三角や四角などのかんたんな図形を描いてみましょう。

図形がゆがむときは、ペンの進む先を「点」でイメージしてみましょう。

ペンの進む先をイメージできるとかたちが整い(ととのい)やすくなります。



「良い線が描けた!」と思ったら、そのときの感覚(かんかく)を忘れずに! 遊ぶような気持ちでやってみてね。

### 🎓 思いどおりの線が描けるようになると…

かんたんな線や図形を描けるスキルは、イラストにも活(い)きてきます。

たとえば、「アタリをとる」とき。

「アタリをとる」とは、絵を描くとき、まずはじめにどのパーツがどのあたり(アタリ)にくるのかをおおまかに描くことを言います。プロのイラストレーターでも、アタリをとるところから描きはじめる人が多いです。アタリをうまくとれるかどうかで、イラストの完成度(かんせいど)もちがってきます。

